

前753	王政	(伝説) 都市国家ローマの建国 (<u>ティベル河畔</u> に <u>ラテン人</u> が建国) ・ <u>エトルリア人</u> の王による支配 印欧語族	北部にエトルリア人の都市文明繁栄
前509 前494 前472 前450 前367 前287	共和政 貴族共和政	前509 共和政となる。貴族が政権を独占 { <u>元老院</u> が国政の中心 前494 <u>護民官</u> の制度が生まれる { <u>コンスル</u> が行政・軍事の権 前472 <u>平民会</u> の設置 前450 <u>十二表法</u> の制定 最古の成文法 { <u>パトリキ</u> (貴族) 平民の権利拡大 <u>プレブス</u> (平民) 前367 <u>リキニウス=セクスティウス法</u> 内容 { ① <u>コンスルの一人が平民</u> ② <u>大土地所有の制限</u> 前287 <u>ホルテンシウス法</u> 平民会と <u>元老院</u> が対等となる 法的に平等	半島の征服進む 分割統治 ★内容 ①植民都市 ②自治都市 ③ <u>同盟都市</u> ・ 平民 ・ 中小土地所有農民 ・ <u>重装歩兵</u> としてローマ軍団の主力
前264 前218 前149 前146	ローマ 地中海征服	ポエニ戦争 ローマと <u>カルタゴ</u> (フェニキヤ人) との西地中海の覇権争い 前264 第1回 <u>シチリア島</u> 獲得。征服地の 属州 統治はじまる 前218 第2回 <u>ハンニバル</u> の <u>カンネーの戦い</u> ローマ惨敗 イタリア半島侵入 <u>ザマの戦い</u> … <u>大スキピオ</u> の活躍 前149 第3回 <u>カルタゴ</u> 滅亡 <u>小スキピオ</u> 活躍 ~146 地中海世界制圧	・ <u>閼族</u> (ノビレス) <u>騎士</u> 階級の台頭 ・ 中小土地所有農民の没落 ↓ ★原因 ・ <u>ラティフンディウム</u> の発達
前133 前121 前73 前60 前46 前43 前31	内乱の一世	前133 <u>グラックス兄弟</u> の改革 (兄) ティベリウス (弟) ガイウス★背景 ~121 ・大土地所有を制限し、無産市民に分配して <u>中小自作農民</u> の育成を意図⇒挫折★理由 市民間の対立抗争 { <u>閼族派</u> (<u>スラ</u>) <u>平民派</u> (<u>マリウス</u>) } ⇒ 軍人の台頭 (軍隊の私兵化) 前73 <u>スパルタクスの反乱</u> 剣奴 前60 第1回3頭政治 <u>カエサル</u> , <u>ポンペイウス</u> , <u>クラッス</u> 寡頭政へ 前46 カエサルの独裁⇒共和派による暗殺 (<u>ブルータス</u>) キケロ 前43 第2回3頭政治 <u>オクタヴィアヌス</u> , <u>レピドゥス</u> , <u>アントニウス</u> 前31 <u>アクティウムの海戦</u> (<u>クレオパトラ</u> 自殺) 前30 <u>エジプト</u> を属州化 地中海世界の統一	①土地兼併による大土地所有発達 ② <u>奴隷制度</u> による労働 (大規模)
前27 前14 前30 前64 前180	帝政 元首政 パトリス	前27 <u>アウグストゥス</u> オクタヴィアヌスに元老院より ~14 自らは <u>プリンケプス</u> と称す 〔キリスト教の成立・発展〕 30 イエスの死⇒12使徒 ★元首政の特徴 <u>ペテロ</u> , <u>パウロ</u> の布教 64 皇帝 <u>ネロ</u> による迫害 ・ <u>カタコンベ</u> (地下墓所) 多くの殉教者 96① <u>ネルヴァ</u> 帝国領土が最大となる ② <u>トラヤヌス</u> ③ <u>ハドリアヌス</u> ④ <u>アントニヌス=ピウス</u> 180⑤ <u>マルクス=アウレリウス=アントニヌス</u> Pax Romana	ローマの平和 ローマ帝国の全盛時代 ①属州の統治による収奪 ② <u>ラティフンディウム</u> 発達 (奴隷制大農園) ③都市の発達 (都市生活) 各地に植民都市の建設 ④商業、貿易の発達 絹の道 インドと季節風貿易
前284	ローマ 軍人皇帝時代	カラカラ帝 属州の全自由民に <u>ローマ市民権</u> を付与 周辺諸民族の侵入が激化⇒ (東) <u>ササン朝ペルシア</u> の侵入 権力闘争による政治の混乱 (北) ゲルマン民族の侵入	混乱 奴隷制度のゆきづまり ↓ ★背景 <u>コロナトゥス制</u> の発達 大所領におけるコロヌスの使用 ★その性格
前284 前313 前325 前392 前395 前431 前476	専制君主政 ドミナトゥス	【 <u>ディオクレティアヌス帝</u> 】 <u>ドミヌス</u> と称し専制君主政を開始 四分分割統治 キリスト教徒 への最大の迫害 【 <u>コンスタンティヌス帝</u> 】 ⇒ 313 <u>ミラノ勅令</u> で公認 325 <u>ニケーア宗教会議</u> 330 <u>コンスタンティノープル</u> 遷都 332 勅令で <u>コロヌス</u> を土地に緊縛 【 <u>テオドシウス帝</u> 】 395 <u>ローマ帝国</u> の 東西分裂 東ローマ帝国 (都 <u>コンスタンティノープル</u>) 西ローマ帝国 (都 <u>ローマ</u>) 431 <u>エフェソス宗教会議</u> 476 <u>ゲルマン人傭兵隊長オドアケル</u> により 西ローマ帝国の滅亡 <u>ネストリウス派</u> を異端	中興 ★ローマ帝国衰亡の原因 衰退 375 <u>ゲルマン民族大移動</u> はじまる 帝国内にゲルマン人の建国